

抑草剤「グラスショット液剤」を用いた水田畦畔雑草の管理

福島県農業試験場 種芸部
平成10年度 春夏作試験成績概要
分類コード01-01-20000000
部門名 水稻-水稻-雑草防除

I 新技術の解説

1 要旨

- (1)ビスピリバクナトリウム塩3%液剤を主成分とした水田畦畔用抑草剤グラスショット液剤を用いて畦畔雑草の伸長を抑制することにより、畦畔の草刈次期の延長や草刈回数を軽減することができる。
- (2)本剤はイネ科雑草に対しては枯殺せずに伸長を抑制するが、多くの広葉雑草は枯殺する。このため、広葉雑草が優占する畦畔では裸地が多くなるので使用を控える。
- (3)雑草刈り取り後の再生期に処理する場合は、刈り取り直後よりも雑草がある程度伸長した10～15日後に処理することにより伸長抑制期間を長くすることができる。
- (4)イネ科雑草に対しては、出穂期直前に処理して稈長を短縮することにより刈り取り時期を遅らせることが可能である。このため、出穂の早いハルガヤが優占する畦畔では、5月中旬の処理で7月以降も20cm前後の草高にとどめることができる。

2 適用範囲

イネ科雑草の優占する水田畦畔

3 普及上の留意点

- (1)イタリアンライグラス、ウィーピングライグラス、カモジグサには抑草効果がないので、本種が優占する畦畔では使用しない。
- (2)水稻に直接散布すると葉の黄化や生育抑制が生じるので注意する。

II 具体的データなど

表1 生育期処理による草種別の効果

草 種	処理時 草丈(cm)	処 理 後 24日後	の 生 育 37日後
カラスノエンドウ	20	枯死	
タンポポ	15	枯死	
オオイヌノフグリ	15	枯死	
スイバ	25	一部枯死	
カキドオシ	20	枯死	
ハコベ	20	枯死	
ベレニアルライグラス	30	草丈抑制(35cm/無処理45cm)	草丈60～70cm/無処理100cm
オーチャードグラス	20	草丈抑制(20cm/無処理35cm)	
被 度(%)	100	30	70

処理:4月20日

表2 刈取後再生期処理

草 種	処理時 草丈(cm)	処理 54日後
スギナ	10	10cm/無処理25cm
ヘラオオバコ	〃	25cm/無処理30cm
コメツブツメクサ	〃	枯死
ニホンシバ	〃	12cm/無処理15cm
ハルガヤ	〃	20cm/無処理35cm

刈り取り:5月8日 処理:5月14日

III その他

- 1 主な参考文献・資料:平成9及び10年度春夏作試験成績概要(種芸部)